

平成 27 年 5 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

飯館村教育委員会

## 平成27年5月 定例飯舘村教育委員会会議録

1 招集日時 平成27年5月26日(火)午後3時00分

2 招集場所 飯舘村役場飯野出張所 3階会議室

3 出席委員  
教育委員長 佐藤 眞 弘  
教育委員(委員長職務代理者) 菅野 クニ  
教育委員 高倉 文子  
教育委員(教育長) 八巻 義徳

4 欠席委員 なし

5 説明のため出席した者  
教育課長 村山 宏行  
学校教育係長 佐藤 正幸  
生涯学習係長 志賀 春美

6 開 会 午後3時00分

7 委員長あいさつ

委員長 日程第1 委員長あいさつ

今日は、相馬支会の定期総会、それから県の連絡協議会の総会も行われました。県は福島市教育委員長の芳賀 裕 委員長が会長に再任されました。

また、支会でも話がありましたが、地方教育行政の改正に伴った文言の修正ということで総会に諮られまして、総会で説明があったとおり決まっています。

芳賀会長の挨拶の中に、「これから教育長が教育委員会の責任者になるわけですが、教育委員の役割はますます重要になってくるし、責任も重くなるということは、教育長に対して物を言える教育委員にならなければだめですよ。」という話がありました。まさに我々は住民の代表としてここに来ているわけですから、しっかりとそういったことも考えながら、飯舘村の教育をどうしていくかということなどを常に考えていきたいなと思います。

それから小学校運動会、私は出れなかったのですが、運動会の様子なども後ほどお聞かせいただければと思います。

以上であいさつに代えたいと思います。

8 会期の決定及び書記の指名について

委員長 日程第2『会期の決定及び書記の指名について』です。

会期、平成27年5月26日の1日間とし、書記に教育課学校教育係長佐藤正幸さんを指名したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全 員 はい、よろしくお願ひします。

9 平成27年4月定例教育委員会会議録の承認について

委員長 日程第3『平成27年4月定例教育委員会会議録の承認について』を議題といたします。事前送付の会議録、何かございましたらお願いします。

全 員 何もあります。

委員長 それでは、『平成27年4月定例教育委員会会議録について』は承認したいと思います。

10 教育長提案理由説明

委員長 日程第4 教育長提案理由の説明をお願いしたいと思います。

教育長 いつもお世話になっております。

今、委員長からお話がありましたように、新しい教育委員会制度の中で、一人ひとりの教育委員の方々に大きな力をお借りすることになります。

先日の運動会、大変子供たち元気でした。それから、保護者が大きくスタッフとして動いていて大変うれしく思いました。あとは、今お話を伺っているところでは、以前のような運動会にするには地域の人たちをどう巻き込むかというようなお話ですので、そのあたりを学校と連携しながら工夫してまいりたいと思っております。

今日は、事務局で用意していただいた、以下のような議題があります。

それから、これは事務局の記録が大変ですので、議事録には残さなくても良い説明内容ということで、お手元の資料を説明させていただきます。(小中一貫教育の資料について説明)

委員長 ありがとうございます。それでは、これについて一言ずつ感想を。

菅野委員 免許を持っている中身の違いなんだと思ってしまったら大変失礼かとも思いますが、先生方の出身大学はどうなんでしょうか。もしかしたら、大学によっては小学校の教員免許だけでいいよという場合、それから単位の問題がありますよね。だから、教職を取るんだったら中学校の免許が取れる単位を取らせるという、大学のやり方があるのかも知れませんが、いやいや、どちらかだけでいいよということで、単位の取り方が緩やかかも知れませんが、単位を取っていないと免許申請が出来ないので、大学の雰囲気も表れているのかなと思いました。

教育長 私も、同じ疑問を感じました。私は出身が岩手大学で、岩手大学に聞きました。やはりその先生自体も、「秋田は高い」というこの数字を意識していませんでした。

委員長 多分、秋田とか福井の教育委員会によるんじゃないでしょうか。

教育長 出せと言っているんだと思います。

委員長 教育委員会が力を入れて取り組んでいるんじゃないでしょうか。

菅野委員 力を入れて、要するにできるだけそういう先生を育てるために、単位を取らせてほしい、授業を、講義を受けさせてほしいと、そういうふうに仕向けているんじゃないかという気がするんです。

教育長 福島大学にこのデータを示してみましようか。

菅野委員 ぜひ、境野先生のご意見を聞きたいなと思いました。

それから、単位認定についてです。うちの息子が言っていました。福島県教育委員会の単位認定についてなんですが、それを認める、認めないというのは、ひょっとしたらあるのかも知れないです。本来だったら取れるはずのものが単位として認められなかったんだと言っていました。

うちの息子が中学校の理科の免許を取ろうとしていて、いろいろと別の大学で受けているんですけども、本来だったら単位認定されてもいいはずなのに、福島県の教育委員会からは、それでは認めないと言われたと言っていました。ほかの県だったらこれで認められるのになと言っていました。

教育長 今、高校の先生をなさっているんですか。

菅野委員 うちの子は高校の教諭です。高校の農業科をやっていますけれども、高校の理科を持っているのだから、中学校の理科もということで。

教育長 多分、高校の農業の先生だと、大体は中学校の理科を持っていますものね。このあたりは宿題として、私も調べてみます。

菅野委員 うちの息子は岩手大学なので、その段階では、中学校の理科の免許申請を出せると思ったのですが、最終的には、農学部だから農業だけ、となってしまったのです。ですから、岩手大学の消極的な姿勢もあると、今思い出しました。そういうことが、全部ここにつながってくると思いながら説明を聞いていました。

教育長 すごいですよね、福井県あたりは。

菅野委員 これは意識していたと思いますよ、きっと。

教育長 多分意識していますね。自然じゃないですね。

高倉委員 小中一貫というのが今一つ分からないのですが、学年段階の区切りを見ると、4、3、2とあるじゃないですか。4年生まで小学校扱いとか。

教育長 小中を合わせて、義務教育学校の初等とか中等とか高等というように、3つに区切っていくんですね。

高倉委員 義務教育のですか。

教育長 そうです。ですから、義務教育はトータルで9年です。今までは小学校6年間を一塊、中学校3年間を一つの形でした。

このやり方は、小学校4年間で形にして、あと3年間で形にして、後の2年間、中学校2年、3年は仕上げとする形です。トータルは同じ9年ですが、そういう認識です。

それによって、今、一番体の成長や気持ちで揺れる、小学校の5年生、6年生、中1が1つのつながりとして、クラス替えもしない学校が多いんです。そこの3年間というのは。クラス替えをしないほうが良い子はしない、クラス替えをしたほうが良い子はクラス替えをするんです。ですが今は、小学校から中学校に替わったらもうクラス替えというのは完全にありですよ、しないほうが良くても悪くても。

委員長 まず、今の小学校、中学校の仕切りの仕方が、この最初の1枚目でいかに実態に合っていないかというのが分かりますよね。これだけ成長が、スピードが速くなっている。あるいは平均値なので遅い人もいる、早い人もいる。それを小学校6年、中学校3年で区切って、そこの段差に登れない人も出てくるのは当たり前で、こういうのを見ると、実際に今の小学校、中学校というのは何か時代に合っ

ていないんじゃないかなと思います。やっぱり義務教育9年間で子供を育てていくというほうが自然なんじゃないかなという気がしますね。

それから、私は昔から言っていたんですが、小学校の先生と中学校の先生を交流してくださいということがあります。よく、前の広瀬教育長にも言っていたんですけれども、免許の問題があってできないということがあったのです。

中学校の先生は、できないのは小学校のせいだと言うし、小学校の先生からすれば、中学校で落ち込むのは先生が悪いからと、お互いに人のせいにするというか、違うことを言うのですが、やはり中学校の先生が小学生を見れば、どこがまずいのかというのが分かる訳なんですよね。

教育というのは小学校だろうが中学校だろうが全部つながっている訳です。だからそういうところで、先生を小中なくして入れかえてということも必要だと思います。教科担任制は専門職も必要なんでしょうけれども、なるべくそういうのを取り払ってやったほうが子供たちには良いのかなと、全体の、小中一貫教育の今日の教育長の資料からそんな感じを受けました。ぜひ飯舘村に取り入れられればなと思いました。

その他よろしいでしょうか。

全 員 ありません。

委員長 それでは議案の方を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

#### 11 議案第13号 交流センター工事請負契約について

委員長 日程第5 議案第13号『交流センター工事請負契約について』を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

教育課長 別刷りで資料を用意いたしました。村の公民館の建設工事、いよいよ発注ということになりました。入札の方が終わっておりまして、今度の28日、村の臨時議会で議決されますと契約が成立という動きになります。(資料に基づき説明。)

委員長 それでは、委員の皆様から何かございますか。

菅野委員 前に議論した記憶があって、あれから変わっていないんですか。

教育課長 あれからは、ほとんど変わっておりません。ただ、財源については復興交付金から再生加速化事業の方に変わりました。単年度で行わなければならないということがあります。工期は3月20日で、今年度中に完成する予定でございます。

委員長 生涯学習課はこの事務室に入るんですか。

教育課長 その予定でございます。

委員長 その他ございませんか。

全 員 はい、ありません。

委員長 それでは、『交流センター工事請負契約について』は承認したいと思います。

#### 12 議案第14号 6月議会上程補正予算について

委員長 日程第6 議案第14号『6月議会上程補正予算について』を議題といたします。

教育課長 横型のA4判の資料を用意いたしました。(資料に基づき説明)

委員長 それでは、補正予算についての説明いただきましたけれども、よろしいでしょうか。何もございませんか。

全 員 はい。

委員長 それでは、補正予算については承認したいと思います。

13 議案第15号 草野・飯樋幼稚園養護教諭の委嘱について

委員長 日程第7 議案第15号『草野・飯樋幼稚園養護教諭の委嘱について』を議題といたします。

教育課長 これは、本来ですともっと早い段階でご提示しなければならなかったことです。  
(資料に基づき説明。)

委員長 これについては何かございますか。

全 員 ありません。

委員長 それでは、『草野・飯樋幼稚園養護教諭の委嘱について』は承認します。

14 議案第16号 社会教育委員の委嘱について

委員長 日程第8 議案第16号『社会教育委員の委嘱について』を議題といたします。

教育課長 (資料に基づき説明。)

委員長 これも別にありませんね。

全 員 はい。

委員長 それでは、『社会教育委員の委嘱について』は承認します。

15 諸報告について

委員長 日程第9 『諸報告について』を議題といたします。

教育課長 (主要な行事日程等について、「沖縄までの旅」について、「未来への翼」について説明。)

委員長 それでは、日程等について説明いただきました。何か皆さんからございませんでしょうか。

菅野委員 「沖縄までの旅」の団長はどなたに予定されていますか。

教育課長 私が行きます。

菅野委員 中学校(未来への旅)が去年から比べたら多いというのは、これは学校側の努力なのか、または、たまたま応募者が多かったという事でしょうか。

教育長 今まで、こういったことについては、締め切ったときにあと2人足りない、3名足りないと走り回って集めていた部分はありましたね、生涯学習係長。

生涯学習係長 そういうこともありましたし、今回も、私のほうから声はかけています。区域外の方とかまだ迷っている方がいたら、「どうでしょうか」ということで。

教育長 背中を押してやっているのですね。

生涯学習係長 迷っているという話も結構来ていますし、ぜひどうぞという案内だけ出ただけでは、なかなか伝わらない部分もあります。特に村外の学校に行っている子供たちがどんどん多くなっていますので、知っている保護者何名かには声をかけました。

また、保護者同士で話しあっているということもあるでしょうし、来年、自分は沖縄に行くんだよねと、子供たちが楽しみにしているという部分もあると思います。中学校であれば海外に行く。そういうところは。

教育課長 昨年、初めてホームステイを組み入れました。そこに対する不安はあったと思います。ただ、ホームステイに行ってみたら、すごく良かったという声が上がりました。今回も変えずにホームステイを入れていますが、そういった事で、余り抵抗がなかったのかなと思いますね。

報告事項ですが、本日の資料には記載していないのですが、前回ありました、中学生で進路が決まっていなかった子供2人を調べました。海野先生からもお聞きしました。そのうち1人の子は完全にスマホ中毒です。家庭の中で子供の言いなりで、親のほうがスマートフォンを取り上げられないという事です。

海野先生いわく、病院等へまず入れてスマートフォンから隔離する、そういう手段でもとらない限り無理だという話はしておりました。メディアに完全に依存症なので、親の言うことを聞かない状況から、そこは隔離して治療をしないと無理だということがありました。

もう1人の子は病気ということ。専門的な医療機関で治療が必要ということでした。この子は家庭の中でもちょっと問題があります。母親がどうも囲い込みたがる親で、子供の自立心などを育てられない親なのです。なおかつ子供にも若干問題があるので、1年のときは学校に来ていたらしいんですが、2年生からは、もう不登校になっています。

父親にもフォローを依頼したという経過があったそうですが、母親と衝突ということで家庭内でもずっとうまくいっていない状況があって、子供については専門的な医療機関で診ないとだめだろうと海野先生からありました。

菅野委員 兄弟はいるんですか。例えば中学校、小学校にいる兄弟が。

教育課長 片方の子については兄弟がいますよね。

生涯学習係長 兄弟がいます。

菅野委員 そうすると、その下の子に対する影響というのも当然でてきますね。

教育課長 下の子がいて、やはり不登校ぎみです。

委員長 何かちょっと理解できないのは、ニコチン中毒とかアルコール中毒というのは分かるけれども、スマホで中毒になるというのはどういうことなのか。やっぱり現代病というか、メディアで精神が侵されてしまう訳でしょう。スマホを常に見ていないとだめだということですよ。

生涯学習係長 誰の言うことも聞けないというか、もうそこに入り込んでいるんですね。

委員長 その世界に入ってしまったという訳ですか、インターネットの中に。

生涯学習係長 そこで会話をするとか、買い物をするとか。

教育長 私も久里浜医療センターに行きました。バーチャルの世界で、そこに、別の名前で入ります。すると英雄になってしまう。「やったね、すごいね」、ほめ言葉がすごい。そこで英雄になっているから、仮想の世界の中で、徹底してすごい人になっています。そしてポイントをゲットしていきますから、どんどん大きくなっていきます。それが、日常では、「おまえ、何で宿題やってないんだ」、「おまえ、何で勉強できない」、「おまえ、何で学校に来ないんだ」ということがあり、そこでどんどん逃避していくのです。

その治療法としては、自分が病気だと、まず診断させるシートがあります。そして病気だと、まずは、認識させます。

ただ、そのときに家族も病気になっている度合いが高いそうです。家族がブロックできない病気です。だからお母さんと本人に来てもらいます。寮のような病棟があります。昔、久里浜医療センターはアルコール中毒患者の治療で有名だったそうです。今はアルコール中毒が減ってきたのでそっちに転換したそうです。

今、その診断シートを持ってきます。

教育課長 ネットの世界なので、こっちの意見からこっちの意見まで幅広くある訳ですよ。自分が好みのところだけ、どんどん検索なり集約していくので、自分の意見が正しい正しいと思っている方、好きな方向にだけずっと行くんですよ。そうすると、ずっとその世界が正しいと思い込んでしまう訳ですよ。悪いのがいっぱいあるんだけど。

委員長 そこが居心地がいいのでしょうか。

教育課長 そう、居心地がいいから抜けられないし、その話題が好きだからずっとそこに居続けたいと思う訳ですよ。

菅野委員 全く別問題なんですけれども、たまたま昨日、夫と話をしていたことがあります。中学校から不登校だった子で、二十歳過ぎてからだったのですが、最終的には現実との折り合いがつけられなくなり、ずっと家の中に閉じこもってしまったんですね。私は十五、六までは知っているんですけども、その後震災などで、ちょっと様子が聞けなくなった子ですが。

また、別な方も不登校でと、ここのところが共通点です。このグループに共通点あるよねと言う話をしていました。結局そういう事なんですよ。

委員長 そういうふうにならざるを得ないんですよ、追い詰められていけば。

菅野委員 一見すれば、親はすごく理解あるように見えます。否定しないから理解があると見えるのですね。

教育長 (診断シートを配布)

今、委員長にお示ししたのですが、世界的にやられているのが一番上、左のほうです。そして右のほうが日本でやっているものです。あしたの校長会で、中学校でこの用紙を使って自己診断させようかなと思っています。

菅野委員 ご本人と家族だけの問題で済むのであれば良いのですが、これが社会的な犯罪につながることもありますね。

教育長 ありますね。

今、福島のあづま脳神経の前に子育て支援センターがあるんですけど、そこにお母さんたちが来るときに、スマホを出さないでくださいということにしようかどうか、健康福祉課で検討しています。そこでは、お母さんたちが子どもを何人か連れてきて、子どもを遊ばせておいて、自分はスマホをやっているというんですよ。深刻です。この問題は。

委員長 今、電車に乗っても、若い人はずっとスマホ見ているのが、何を見ているのか不思議に思います。そんなに見ることがあるのかなと。私はほとんど見たことがないですから。ただ、持っていることは持っているんですけど、電話がかかってくるし。あの子たちは24時間見ているような感じですよ。あれでは、ちょっと寝る時間もなくなってしまうでしょうね。

菅野委員 安全祈願祭は、これはご案内が来るのですか。



教育課長 はい。案内を出します。

菅野委員 それと、7月の教育委員会の研修もスケジュールに入れておいてほうがいいと  
いうことですか。青森での。

教育長 できればお願いします。

委員長 去年は岩手でやったんですけれども、私行きました。リニアコライダーの話  
を聞いてきました。

教育長 今度、30日にICRPの報告がありますね。

菅野委員 はい。よろしくお願いします。私、30日に話しますから。

ぜひ時間のある方は、30日に来てください。飯舘村の宮内地区から採取した山  
菜の、放射線量の場所による違いなどについて、私の個人的な話をします。

私のところに来てくれているのは、産総研の研究者です。産業技術総合研究所  
の方です。彼らは、今、この地域で1日に何時間農作業をやりながら住んでいた  
ら、1年間でこのくらいになるというソフトを開発しています。

私たちが飯舘に帰ったときには、やっぱり線量を気にする訳ですよ。私だっ  
て気にします。そのときに、どのくらい影響があるのかは、空間線量だけでは分  
からない訳です。ですから、実際に自分が個人線量計をつけながらいろいろな作  
業をしてみました。私は七、八人頼んでやってもらったんです。この作業をして  
こうだったらこうだとかやりながら。最終的には線量計を持たなくても、そこ  
の地域での線量データを出せるために。

今は、そのための基礎データを、何人かに頼みながらとっています。私のデー  
タもここに入ります。一番高いのが飛行機に乗っているときでした。笑っちゃい  
ました。やがて私たちが帰るときに、線量計をつけたい人は、持っていても構わ  
ないんですけれども、そんなの持ってまで作業をやりたくない、でも気になるね  
というときには、ちょっとパソコンを触ってみたら、どのくらいになるよという  
データがさっと出せると良いなと思っています。

教育長 気にしない人は余り気にしませんが、気にする人はしますからね。

菅野委員 参考までに我が家のフキはほとんどNDに近いですね。3カ所とって1カ所は  
NDだと思います。ウルイは検出せずですから。

教育長 フキは余り吸わないんですか。

菅野委員 結論的には吸わないんでしょうね。

教育長 タラの芽とかコシアブラなんて結構吸い上げますよね。

教育課長 コシアブラって陰性ですよ。どちらかという。水とか多いほうに育つから  
かなという感じがしますね。

教育長 浮遊しているから吸い上げるんでしょうね。

菅野委員 一番は、おいしく食べた。おいしかったというのが大事です。楽しいというこ  
とが良いのです。これは科学的根拠に基づいていますから。楽しかったらテンシ  
ョン上がります。楽しく生きることが一番です。

教育課長 体の免疫力が上がりますからね。

菅野委員 心配すると下がりますし、余計なことは心配しない。ときどき怒りながら。

高倉委員 この依存度テストは小学生もやるんですか。

教育長 今のところ、やりません。小学生でやったほうがいいのかどうか迷っています。

中学校はやろうかなと思っています。小学校もやったほうが良いでしょうか。明日、小学校の校長も会議には来ますので話してみます。

委員長 小学校ではスマホをやっている人はいないのですよね。

教育長 いない訳ではないです。

菅野委員 今は、3歳くらいからの子もいますから。

生涯学習係長 持っていますよ。携帯持っていて、やっている子はラインやったりとかゲームをやったりしています。

菅野委員 今、3歳児でもゲームやっていますから、スマホで。本当です。

昔はテレビに子守をさせないでと私は言ってきましたけれども、今はスマホを預けないでと言わなければいけないですね。

委員長 結局、親がそうやって使っていて、子供がそれを見ているからね。

菅野委員 時々、電話がかかってきて、あれと思って折り返すと、うちの子が触っちゃったのかもしれないという人がいますから。おもちゃにしているんですよね。

教育課長 沖縄なんかの事前研修会やりますよね。親子で行くんですけれども、親も子どもどっちもスマホいじっているときありますよね。

委員長 それはやっぱり注意しないといけないね。

教育課長 持ってこないようにと学校で言わないとだめですね。

菅野委員 参考までに、うちの息子は授業開始前にスマホを全部かごに集めるそうです。それをやらないと、使うなどと言っても使うから。授業の前に全部取り上げている。約束を守らないから強制的に預かるしかない。それも文句言われるそうです。それで5分損してもまだいいって、授業成り立つほうが。

委員長 それでは、日程関係はよろしいでしょうか。7月の9日、10日、東北の連絡協議会の研修会がありますので、ぜひ都合つけていきたいと思います。行けば非常に勉強になる研修会ですので、ぜひお願いします。

教育長 研修は、行けばやはり勉強になりますよね。先日、全国の町村の教育長会、初めてでしたが勉強になりました。

委員長 ただ、去年、私が聞いたのも、次元がちょっと違うような話、素粒子の話で、東北大学の教授の話だったので、ついていけませんでした。すごいですよね、リニアコライダー、30キロも光を飛ばして。

教育長 あれが北上に出来るんですか。

委員長 北上に国際機関ができるんですよ。日本には今までそういう国際機関がなかったんですね。大学が1個あったぐらいで。それが北上にできるということで、世界中から科学者が集まってくると言っていましたから、3万人ぐらいの町が一瞬にしてできるような感じだと言っていましたね。

素粒子の話はちょっと難しくて分かりませんが、ただ、アインシュタインが発明した相対性理論によって今のGPSが動いているんだそうです。だから、100年前のそういうのが今、現実になって、GPSという機能を動かしているんですよという、そこだけは耳に残っていました。

教育長 GPSがなかったらドローンだって飛ばないんですものね。

委員長 あれはアインシュタインの相対性理論があったからできている技術だと言っていました。ぜひ行きたいと思いますので、お願いしたいと思います。

- 16 その他  
 委員長 日程第10 その他『次回教育委員会の開催日時について』を議題といたします。  
 教育長 どうでしょう。次回は学校でやりませんか。  
 委員長 それもいいんじゃないでしょうか。  
 教育長 小学校ではどうでしょうか。  
 全 員 いいです。  
 委員長 それでは、次回の教育委員会は27年6月26日金曜日、午後3時からということで、小学校で行いたいと思いますのでよろしくをお願いします。

- 17 閉 会  
 委員長 それでは、以上をもちまして5月定例飯館村教育委員会を閉会といたします。

午後4時30分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育委員長

佐藤 真弘

教育委員（委員長職務代理者）

菅野 ㇿ二

教育委員

高倉 文子

教育委員（教育長）

八巻 義徳

書記：学校教育係長 佐藤 正幸